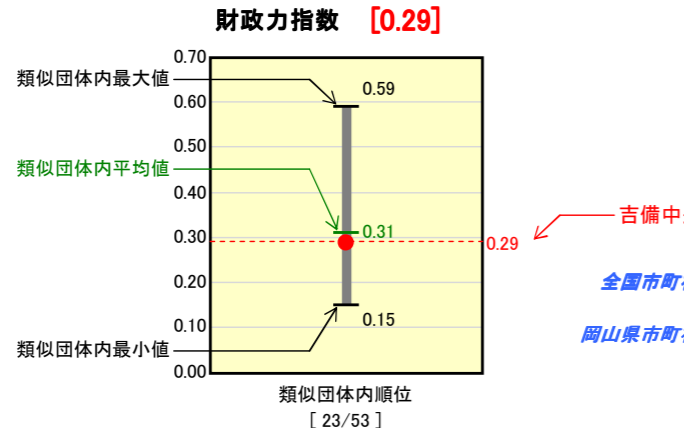


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

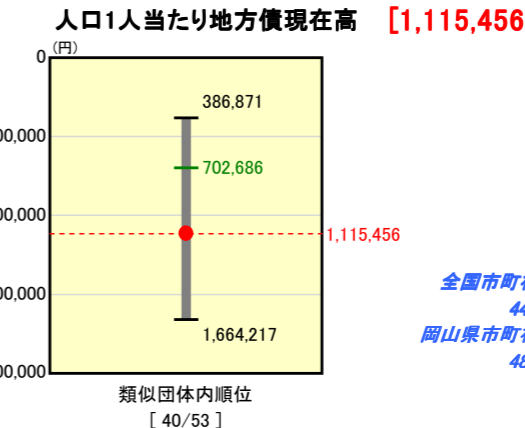
岡山県 吉備中央町

人口	13,749	人(H20.3.31現在)
面積	268.73	km ²
歳入総額	9,591,490	千円
歳出総額	9,224,947	千円
実質収支	327,774	千円

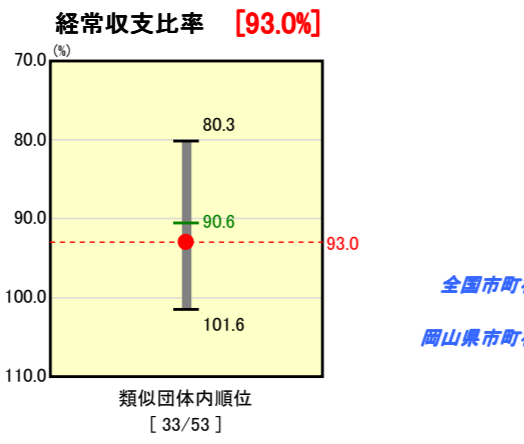
財政力



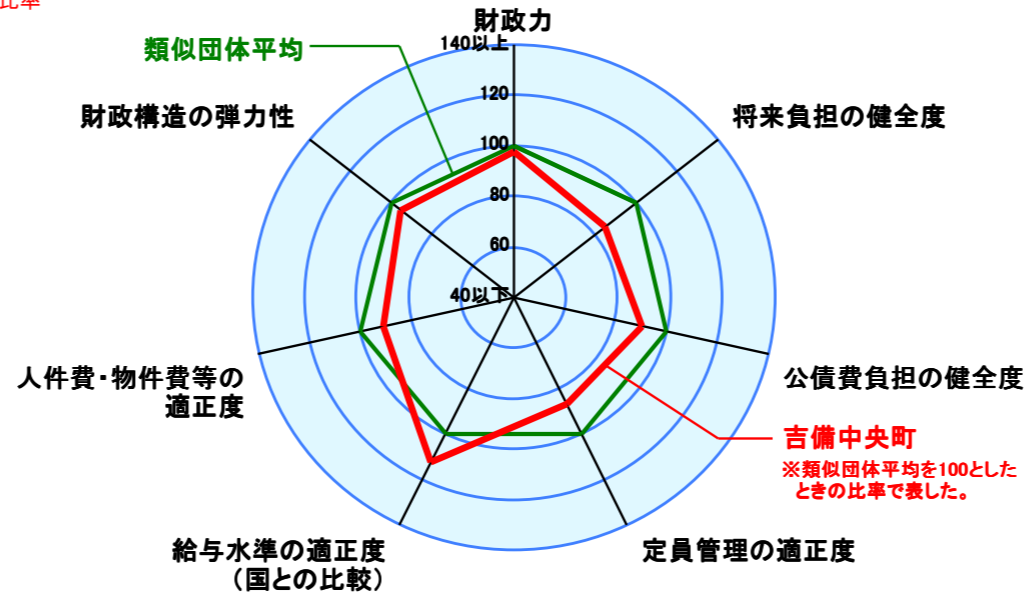
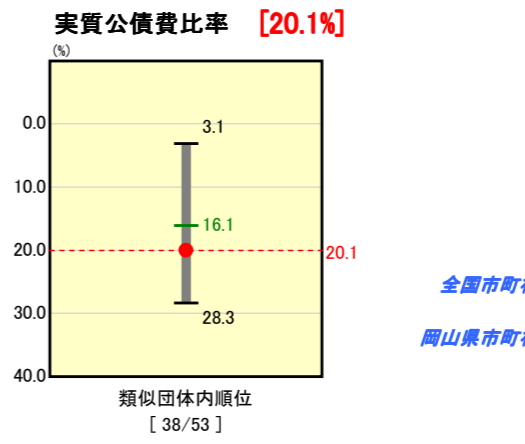
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

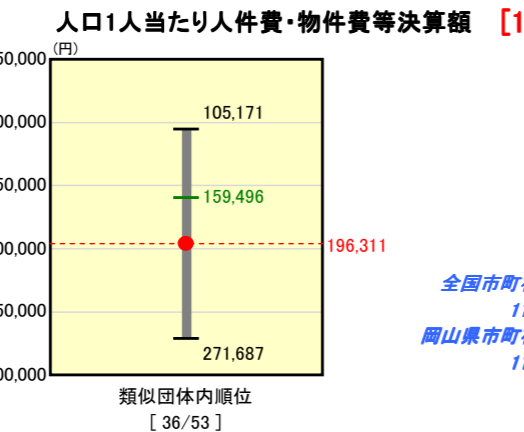


公債費負担の健全度

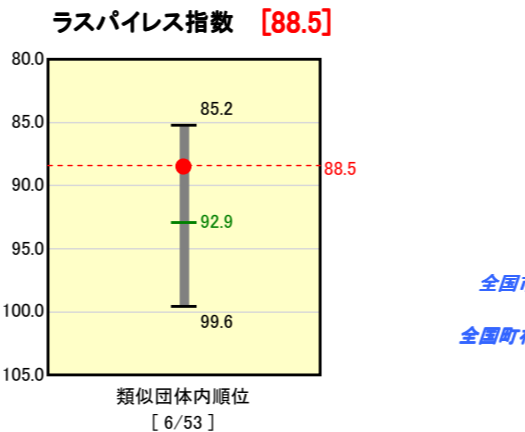


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイルズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

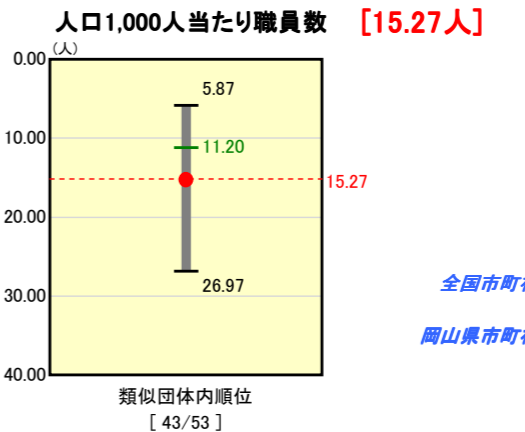
人件費・物件費等の適正度



給与水準の適正度 (国との比較)



定員管理の適正度



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
本町の数値は、0.29で昨年度数値よりわずかながら上回ったものの、類似団体内平均値を下回っている。人口の減少や全国平均を上回る高齢化率に加え、町内に大きな企業もない本町では、財政基盤が弱い。今後は、行政改革を積極的に推進し、町税をはじめとする自主財源の確保と徹底した歳出削減に努める。

【経常収支比率】
人件費については、新規採用の抑制等により減少しているが、本年度大型事業をおこなったため、公債費が増加となった。今後は、人件費・公債費等の抑制に努める。

【ラスパイルズ指数】
本町の数値は、昨年度と同じく88.5と類似団体内平均値を大きく上回っている。類似団体の中では低い水準の給与となっているが、今後とも給与の適正化に努める。

【実質公債費比率】
本町の数値は、昨年度と同じく22.8%であり、類似団体内平均値を下回っている。過疎対策事業債、簡易水道事業債等の償還が大きな要因である。今後は、公債費負担適正化計画に沿い、地方債借入額の適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
本町の数値は、1,115,456円と昨年度より増加となった。要因としては、今年度行った情報基盤整備事業等大型事業によるものである。今後は、公債費負担適正化計画に沿い、地方債借入額の抑制に努める。

【人口1000人当たり職員数】
本町の職員数は15.27人で、類似団体内平均値を下回っている。これは、保育園、幼稚園、小・中学校が多いこと等が主な要因である。今後は、機構改革も含め保育園、小・中学校の統合を推進し、合わせて職員採用を抑制する。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
本町の数値は、196,311円で、類似団体内平均値を大きく上回っている。その要因としては、物件費のウエイトが高いものと思われる。今後も物件費について、購入の一元化、管理の徹底等により削減に努める。